



平成 29 年 11 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ タ ッ プ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 航 陽
(コード番号：6172 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 山 崎 祐 一 郎
(TEL. 03-5325-6280)

ICO 実施に向けて協議を開始することに関する基本合意のお知らせ

当社は、2017 年 11 月 2 日、当社サービスである「タイムバンク」について、テックビューロ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：朝山 貴生、以下「テックビューロ」）が提供する ICO ソリューション「COMSA」を用いた ICO 実施に向けて協議を開始することに関する基本合意をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本合意の背景

当社サービスの「タイムバンク」（注 1）は、2017 年 9 月のサービス開始以来、時間の売買というこれまでにない新たな市場開拓を行ってまいりました。また、今後は専門家の時間に限らず、物や施設などのあらゆる時間の価値の最大化を目指し、更なるサービスの拡大を目指すため、テレビコマーシャル等の大規模プロモーションを含む様々な施策を予定しております。当社は、その資金の調達方法の一つとして、本年 10 月より、電子トークン販売による資金調達方法である ICO（Initial Coin Offering）の実施を検討しており、日本初の ICO ソリューション「COMSA」を提供するテックビューロ（注 2）と継続的な協議を行ってまいりました。本件基本合意により、当社とテックビューロは、当社が現在検討中の「タイムバンク」の ICO を行う場合にはテックビューロが提供する ICO ソリューション「COMSA」を用いることに合意いたしました（ただし、本件基本合意に法的拘束力はありません）。また、今後、当社とテックビューロは、販売するトークンの仕様や実施時期等の具体的な協議を開始いたします。現状、ICO によって調達した資金は「タイムバンク」の大規模プロモーション等に充当する予定ですが、詳細な資金使途、調達規模及び支出予定時期については未定です。また、ICO 実施の時期は早ければ年内、遅くとも 2018 年中を想定しておりますが、詳細については未定です。

（注 1） タイムバンクは、様々な「時間」を売買できるマーケットプレイスです。ユーザーは、専門家が販売する時間を購入、使用、売却、保有することができ、専門家は隙間時間を収益に変えることが可能となります。（<https://timebank.jp/>）なお、本サービスは開始後間もない為、2018 年 8 月期において、現段階の当社業績に占める割合は限定的です。

（注 2） テックビューロは、暗号通貨技術とブロックチェーン技術に基づいたソフトウェアとサービスを開発しているクリプト・フィンテック・ラボ（Crypto-Fintech Lab.）です。「miijin」と「Zaif」の他、ブロックチェーン技術導入の受託開発やコンサルティングサービスを提供しております。（<http://techbureau.jp/>）

2. 今後の見通し

ICO 実施の決定及び本件による連結業績への影響については、確定次第速やかにその内容をお知らせいたします。

なお、2017年10月27日、金融庁はICOの利用者及び事業者に対する注意喚起を発表しており、仮に当社が実施を検討するICOが、資金決済法及び金融商品取引法の規制対象となった場合には、ICO実施が困難になる可能性があります。

以上